

## 組合員のみなさまへ



高知県農業協同組合

代表理事組合長 秦泉寺 雅一

ご あ い さ つ

組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は当組合の事業運営に格段のご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況につきましては、第8波をピークに収束の兆しをみせ、県内各地でも3年ぶりにイベントが開催されるなど、コロナ禍前の姿へと回復基調となりました。一方で、農業災害の多い年となり、7月、9月の台風4号、14号、昨年末の未曾有の大雪などにより、農業施設や農作物に甚大な被害が生じました。被災された組合員の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、当組合は、ご承知のとおり不祥事の再発防止が喫緊の重要課題のひとつであり、課題の解消に向けて8月にコンプライアンス担当専任理事を配置し、より一層のリスク管理体制の強化を図りました。不祥事再発防止策に基づく各種取組を実践し、一刻も早い組合員の皆様からの信頼回復とJAバンクのレベル指定の解除に向けて、今後も精進していく所存です。

また、経営基盤強化の対策につきましては、事業の効率化に資するよう事業管理費などのコストの抑制を図るとともに、施設再編計画等に基づき、店舗再編を行いました。事業費用、事業管理費につきましては、昨年度実績ならびに事業計画を上回る抑制となりました。

「不断の自己改革」の実践につきましては、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて農政活動を展開し、地域農業の振興に必要な支援や対応を要請したほか、集出荷施設の新設、改修を行い、将来を見据えた集出荷体制の構築に取り組んでまいりました。

結果として、令和4年度の経営状況は、日米の金利差拡大による歴史的な円安進行やロシアによるウクライナ侵攻を背景とするエネルギー資源の高騰のなか、事業利益段階において788,745千円の利益を確保できました。その主な要因は人件費の抑制や与信費用の減少などであり、本来の事業による成果ではありません。今年2月の臨時総代会で承認をいただきました(株)コスモスアグリサポートの解散に向けた対応も含め、経営上の課題を1つひとつ解消し、本来の組合のあるべき姿の実現に向け、引き続き取組を進めてまいります。

令和5年度もコンプライアンス体制ならびに経営基盤の強化を図るとともに、不断の自己改革を遂行し組織、経営の安定化に努めてまいりますので、当組合へのご支援とご協力を引き続き賜りますとともに、組合員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、あいさついたします。